



12月号 第170号



# しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



## 12月3日～12月9日は「障がい者週間」です！

日本政府は、毎年12月3日から12月9日までを「障害者週間」と定めています（2004年）。これは、1982年（昭和57年）の12月3日に国連総会で「障害者に関する世界行動計画」が採択された日と、1975年（昭和50年）12月9日の国連総会において「障害者の権利宣言」が採択された日に由来します。この期間を中心に国や様々な機関が、障がい者の福祉についての关心と理解や、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加すること等を目的とした啓発活動に取り組みます。

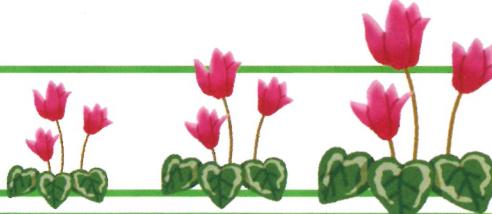
これらの背景には、世界的な人権意識の高まりもありますが、障がいを理解し、当事者を包摂した社会は、私たちすべての人間にとり「生きやすい社会」となることが分かってきたからです。

個人的な経験ですが、障がい者の就労支援を行っていたとき、障がい者が働くために最も大切なことは環境整備です。作業工程をわかりやすく色分けしたり手順書を写真付きにしたり、ちょっとした工夫により、企業全体の廃棄率が下がったり、効率が上がるということがすべての職場で起こりました。

この夏の参議院選挙で令和新選組から2名の障がい者が当選し登院しています。国会内のバリアフリー化もさることながら、今までの食事や排せつ、移動といった普段の生活のための「重度訪問介護サービス」は通勤時や職場での支援は「経済活動」とされ対象外でしたが、今回の当選を受け、職場で過ごす時間や通勤時の介護も公的支援の対象とする制度改正を目指しています。このことで、障がい者の就労機会が拡大することになるでしょう。

相模原で起きた障がい者殺傷事件の衝撃はまだ残っており、なぜあの事件が起きたのか、総括はいまだにできていません。私たちの社会が「すべての障害のある方の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障され、社会を構成する一員として社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられ、何人も、障害者に対して、障害を理由として、差別することその他の権利利益を侵害する行為をしてはならない（障害者基本法より）」社会の実現へ、私たちは歩みを止めてはなりません。せめてこの「1週間」、私たちはすべての人たちが共生する社会とは何かに思いを寄せ、考えていくたいと思います。

※この文章では法令等で定められている表記についてはそのまま引用しています。



「平成最後の年」を合図に幕開けた 2019年を振り返ると（現時点は令和1年11月11日）どうしても悲惨

な、衝撃的な事柄が多い1年という印象です。人はどうしても負の事柄を強く印象付けるからでしょうか。

自然の脅威、台風による災害はこれから自然現象が過去にない猛威を今後も振るうことを意味しています。

す。また、福祉の立場としては、高齢者入所施設や幼児への虐待死亡事件は、詳細が判明するたびにやりき

れない思いを抱かされました。いずれも私たちの社会に「余裕」がなくなっていることと関係しています。国際

関係でも近隣の韓国、中国、ロシアとの関係が悪化しています。これは日本に限ったことではなく、世界のい

たるところで問題化しています。今後も「格差」や「分断」という言葉がマスメディアで登場する回数は増え

ることでしょう。地域福祉を担う社会福祉協議会は、そういった格差や分断を越えて地域のたくさんの方々と

共生する社会をつくる実践が求められており、たいへん難しい課題が山積しているといえます。

それでも、明るい話題もありました。「はやぶさ2」がリュウグウに到達、遠隔操作で隕石採取に成功しまし

た。ノーベル化学賞に吉野さんが選ばれたこと、スポーツの世界では渋野日向子さんの活躍やラグビーW杯

での日本チームの活躍です。吉野さんの研究は、今では私たちの生活に欠かせないリチウム電池の開発に

貢献しました。このことなしに「はやぶさ2」の快挙もありません。吉野さんは「無駄なことをたくさんしない

と、新しいことは生まれてこない」とおっしゃっています。これは目先の成果(利益)ばかりを追求するのではなく、長い視点で物事をとらえる余裕が大切と解釈しました。私たちの社会ではこの「余裕」が潤滑油とな

り社会を支えるのだと思います。5月1日に即位された第126代徳仁天皇は10月22日のお言葉の中で「国民

の観智とたゆみない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望します。」と述べられました。

来年は、平和と福祉の繁栄の1年であること、三宅島のみなさんにとっても幸多き1年であることをお祈り申し上げます。

# 歳末たすけあい運動にご協力お願いいたします！

「歳末たすけあい運動」が12月1日より始まります！10月より始まっていた「赤い羽根運動」に続き、12月からは「歳末たすけあい運動」を行います。

「歳末たすけあい運動」で集められた募金は全額三宅島の福祉の為に使われます。三宅島社協では昨年は「三宅島高齢者ふれあい会食会」のクリスマスパーティーに使わせていただきました。一昨年は「エンディングノート」の製作費に使わせていただきました。その前の年では「熱中症予防対策グッズ配布（島内80歳以上の方）」に使わせていただきました。

皆さんのご協力により、「できる事の幅」を広げさせて頂いております。

「歳末たすけあい運動」は島内各商店のご協力のもと、12月20日（金）まで募金箱を設置させていただいております。

今年も三宅島の福祉の為にご協力お願いいたします！



## 三宅島社会福祉協議会年末年始について

年内は12月27日（金）～17：30まで

年始は01月06日（月）08：30～通常通りとなります。

12月28日（土）～1月5日（日）まではお休みとなります。

※オムツの配達は12月25日が年内最終配達日

となりますので余裕を持って注文願います。

※通院送迎に関しては予約受付が12月27日

となりますのでご注意ください。



# ちけん通信

Vol.9「遺言書」について教えてもらえる？

**Q.** 何かあった時の為に遺言書を書こうと思っているけど、どうやって書いたらいいか…遺言書のことも「ちけん」で相談にのってもらえるのかしら？

そうだ！  
社協の地権に  
相談してみよう！

「地権（ちけん）」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情行報提供を行う事で**本人による選択や契約を支援する事業**です。



地権担当のヤナガワです。

ご相談ありがとうございます！遺言書作りはとても大切です。遺言書にも種類があり、適切な遺言書を作るために遺言書作りの専門家ともいえる「公証人（私文書や定款に認証を与える権限を持った公務員）」に相談する必要があります。社協では遺言書に記す内容に関する相談に乗せていただいている！三宅村役場で定例的に行われている法務局の出張相談会への同行や悩みごとの整理など遺言書作りを考えいらっしゃる方のご事情やご要望に合わせたお手伝いをさせて頂きます。

また、これから的生活を考えるための「エンディングノート」を社協で配布しております！お気軽にお問合せください！相談いただいた方の希望に沿ったお手伝いができるよう、まずは困りごとについて聞かせていただければ幸いです！お気軽にお声掛けください！

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当：柳川（やながわ）【直通 8-5883】まで！

## 高齢者ふれあい会食会



### 1月メニュー

お正月

特別

御膳

会 場 伊豆避難所  
時 間 10:00～  
参 加 費 500円  
締 切 1月 9日  
申 込 三宅島社協  
(8-5888)

1月18日（土）開催！

毎年恒例の  
クリスマスパーティーを  
開催します！



1月はお正月特別御膳をご用意してお待ちしております！会食会に参加したことがない方も大歓迎です♪ぜひ、この機会にいらっしゃってくださいね♪

会食会の写真はボランティアの島崎広光さんの提供です。いつも素敵な写真提供をありがとうございます！

## 認知症・転倒予防のための木曜サロン

日 時：毎週木曜日 9:30～13:30

場 所：神着老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：めぐりケアセンター（前田）

☎090-2655-1529

## 認知症・転倒予防のための阿古サロン

日 時：毎月第1・3火曜日 9:30～11:45

場 所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター☎5-1832

## 認知症・転倒予防のための伊豆サロン

日 時：毎月第2・4水曜日

10:00～13:15

場 所：伊豆老人福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：包括支援センター☎5-1832



ボランティニア情報

## 坪田常盤クラブ（月曜サロン）

日 時：毎週月曜日 9:00～11:30

場 所：坪田福祉会館

内 容：会場設営・参加者との話し相手などなど

問 合：堀井副会長☎090-4541-9277

## 社協 1月高齢者ふれあい会食会

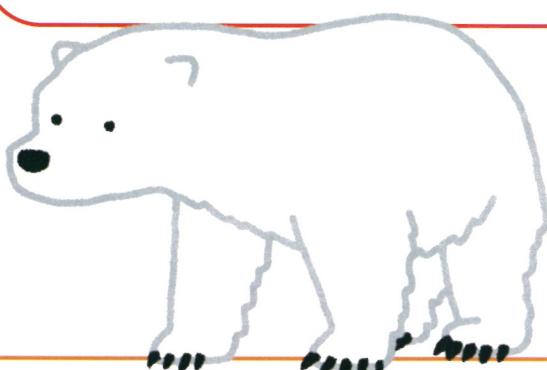
日 時：1月 18日 9:30～14:30

場 所：伊豆避難施設

内 容：昼食調理・参加者サポート

問 合：社協 石塚☎8-5888

締 切：1月9日（木）※要予約



三宅島社協では、ボランティアを必要とする個人・団体などからの相談・受付をしております。また島内でボランティア活動を行う方につきましてはボランティア保険料の一部助成を行っています。お気軽にご連絡ください。

## 障がい福祉 いぶきだより

開所日時：月・水・木(10:00～15:00)



三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です！

### 12月のいぶき活動

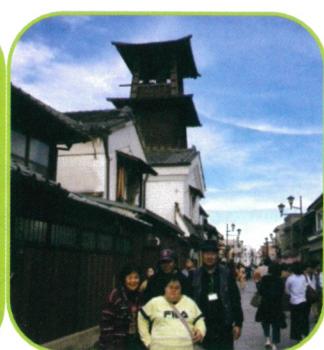


【緑化活動】 12月4・11・18・25日（全水曜日）

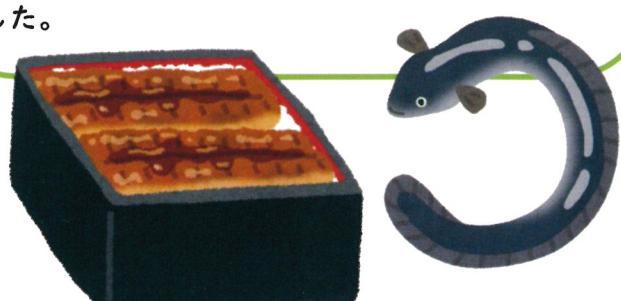
【外出支援】 12月12日（木曜日）

【クリスマス会】 12月25日（水曜日）

【大掃除】 12月26日（木曜日）



◆10月23日（水）埼玉にある「ゆうき福祉会」の作業所とグループホームに見学へお邪魔させていただきました。大きな機械でタオルなどの洗濯や野菜市場での袋詰めの作業など、皆さん一生懸命作業されていました。いぶきのみなさんも、作業に参加させてもらい、貴重な体験となりました。帰りは川越に立ち寄り、ウナギを食べました。「おいしい」と笑顔がこぼれていきました。

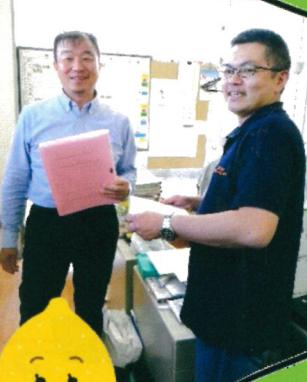


# 社協職員は「今年」どんな年だった？

1年の終わり…12月という事で社協職員を対象にアンケートを実施しました！

年末はどのように過ごしますか？

- 家族と島で過ごします！
- 家族でテレビを見ると思います！
- 母とのんびり過ごしたいと思っている。
- 家族と三宅島でのんびり過ごします。
- 家族と犬とあつたかいリビングで銅像のようになります！
- 日頃できない家族サービスをしっかりさせてもらいます！
- 実家で独り暮らししている母と主人と3人で過ごそうが思います。



今年はどんな年でしたか？

- とてもめまぐるしい一年でした！
- 台風の災害、不安な年でした。
- 仕事では新たな担当を受け持ち、憶える事が多く頭がついでいかない事に我ながら心配になる一年でした（笑）
- 年中忙しかったような…あっという間に過ぎていった。
- 激動の一年でした。人生のターニングポイントとなる一年だったと思います。



社協職員の皆さん、  
今年もお疲れさまでした！

来年も社協職員の皆さんに  
とって素敵な一年になりますように…  
そして島民の皆さん、今年も社協職員が  
お世話になりました！来年も変わらず、  
社協職員をよろしくお願いたいです！



●もう少しやり充実した年にしたい！厄落とししてもう少し資格を活かして稼ぎたい！

- 来年は今年と変わらず、時の流れに身を任せてやる時はやる！！穏やかな時は穏やかに過ごしたいです！
- 笑顔多く健康に過ごしたいです！
- ヘルパーが増えてくれるといいなと思っています。

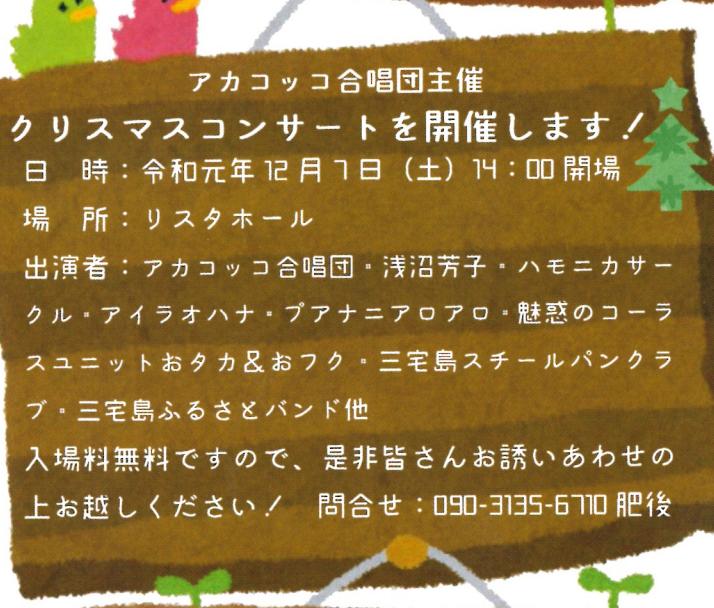


来年はどんな年にしたいですか？

## へん しゅう こう き 編 集 後 記

もう、今年が終わるんですね。5月に令和が始まり、皆さんも時代の変化を感じるような1年だったと思います。いろんなことが少しずつ変わっても、変えてはいけないものや、変わらずあり続けるもの、守らなければいけないものがあります。そういうものを持ちながら新しい時代を生きていきたいと思います。今年もお世話になりました！1月号で会いましょう♪

# ちいき けいじばん 地域の掲示板



社協だよりでは地域で活動されているサークルや住民活動のお知らせを「地域の掲示板」としてお知らせするお手伝いをしています。掲載希望の方は社協（0-5888）までご連絡ください。

## 三宅島巨樹の会「やどり木」会員募集！

- 1 会報「やどり木」通信第2号できました！  
ご希望の方はご連絡ください！
- 2 「やどり木」では島民・全国から会員をいつでも募集しております！一緒に楽しみましょう！

年会費 一口 500 円  
問合せ 090-6875-5627 佐久間

## 風のカフェ

(認知症等介護者のためのカフェ)

風のカフェではご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護を経験された方々のお越しをお待ちしています！また、介護を受けられているご家族の方もご一緒にご参加いただけます！

日 時 12月1日（土）9:00～11:30  
問い合わせ 風の家 5-1470  
役 場 5-0904

## やどり木の活動様子



## 寄付金のお知らせ

下記の方から三宅島社会福祉協議会へご寄付頂きましたのでご報告いたします。

廣瀬 芳さまより 亡母 十四子さまの香料より 職員の福利厚生のために

大石 キヨミさまより 亡夫 茂さまの香料より 組織運営事業のために

福祉振興のため、大切に使わせて頂きます。

ご厚志誠にありがとうございます。



# マイ・ストーリー

あなただけの物語、聞かせてください。

第26回  
田中悠紀子さん  
の物語



ありのままの自分で生きよう。

阿古在住の田中さん

昭和15年、3人兄弟の長女として東京都神田で生まれた田中悠紀子さん79歳。子どもの頃はおとなしくてニコニコ笑っているような子どもだったという。小中高と目黒区の学校に通った。高校を卒業後に就職し、就職先で夫の康祺さんと出会う。26歳の時に結婚し二人の子宝に恵まれる。40歳の時に三宅島で義父と義母が経営する郷土料理店「やまのべ」を手伝うために島へ移住する。田中さんの親御さんは島に移住することは反対していたが、自分自身はごく自然に「移住」を受け入れたという。商工会の女性部の部長を約10年務めた。「女性部の部長ができたのは私が何かできたらじやないのよ。私のチカラでもなんでもなく、部員の方たちや事務局の方たち家族の支えがあったからなの。」しかし、100人ほどの部員をまとめられたのは田中さんにカリスマ性があったからだろう。また、田中さんは5年続いた「三宅島レディースラン」の実行委員のひとりだ。最初は5.6人で始まった。何か女性を対象にして企画できないか、観光産業に貢献できる事はないか、みんなで楽しめる事はできないか、そんなことをみんなで話し合っていくうちに「レディースラン」が誕生した。開催するまで大変な事ばかりが目の前に立ちはだかった。資金集めにも苦労した。でも、すぐそばに素晴らしい仲間がいた。一緒に笑って一緒に泣いてくれる心強い仲間がいた。応募締切の1ヶ月前まで人が集まらなかった。開催できるかみんな不安だった。でも、ここで開催を逃したらもうできないと思った。田中さんは覚悟を決めた。「やろう。」そう言った。田中さんのその決断に仲間もついてきてくれた。当日、人数も集まり第1回三宅島レディースランは大成功となる。「第5回まではばらしい仲間と一緒にレディースランを作れたのは私の一生の誇りよ！」その後三宅島レディースランは人気イベントとして第5回まで開催された。「若い人たちには考えてるだけじゃなく、もっと自分のやりたいことを行動に移してみてほしい。自分で何かを作り出す楽しさを感じてほしい。そのために私が役立てるのなら、チカラになりたい。行動したい人がいるなら一緒にやりたい！」自然体で色々なことを受入れ、ありのままの自分も受け入れる田中さんの生き方がとてもステキだと思いました。「三宅島と共に生きている」そんな風にも感じました。田中さんが「島に来て色々な人に大切にしてもらったり。だから私もたくさんの人を大切にしたい。」と言ったのがとても印象的でした。もしも、三宅島で孤独を感じたらゆきさんの所へ行ってみてください。どんなあなたでも受入れ、大切してくれます。突然の取材にも快く受けて頂き本当にありがとうございました！ありのままの自分で生きる事のすばらしさを教えてくれるようなマイストーリーと楽しい取材の時間ありがとうございました！「世界は小さいのよ。」と言ったゆきさんの言葉、胸にグッときました。私たちの可能性をどこまでも信じてくれているゆきさんならではの言葉だと思います。本当にありがとうございました！



やまのべ旅館

みやけしま社協だよりは5月号(163号)より「印刷工房めじろ作業所」さんで印刷・製本していただいています！

特定非営利活動法人羽ばたく会 身体障がい者の社会参加と活動の場 印刷工房めじろ作業所

〒182-0022 東京都調布市国領町1-3-1 調布セントラルアパート1階 TEL/042-443-1633 FAX/042-443-1632